

≪蓮田特別支援学校の活性化・特色化方針≫

種別	病弱 肢体不自由	学部・ 学科	小・中・高等部	R6.5.1 児童・ 生徒数	(男) 38人 (女) 46人	計 84人
アクセス	JR宇都宮線蓮田駅東口より朝日バス「国立東埼玉病院」下車、徒歩7分					
<教育課程等>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内唯一の病弱・肢体不自由併置校。 ・ 病弱部門は隣接する国立病院機構東埼玉病院に入院または通院する児童生徒が対象。 ※肢体不自由部門は通学区域あり。 ・ 前期、後期の2学期制。 ・ 教育課程の類型を基本にした、児童生徒一人一人のニーズに応じた多様な教育課程。 ・ 病弱部門、肢体不自由部門ともに訪問教育を実施（病棟訪問、在宅訪問）。 ・ ICT機器を活用した学習やコミュニケーションの指導。スイッチ教材、視線入力装置、オンラインでの授業、3Dプリンタの活用、プログラミング学習の一環でのロボット相撲大会への参加、等。 ・ 給食では、児童生徒にあわせた対応ができるように、数種類の食形態を準備。 ・ PT、OT、ST等の外部専門家と連携した自立活動の指導。 ・ 自立活動の観点を踏まえた医療的ケアの実施。 						
<学校行事・部活動>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病棟生と通学生が一緒に参加し作り上げる運動会、はすとも祭（文化祭）。 本校のマスコット「ハッシー」も登場。 ・ 宿泊学習、社会体験学習等を通して経験を広げ、卒業後の自立した社会生活を見通した自主性、主体性の涵養。 ・ 高等部余暇活動の実施。 ・ 中学部、高等部有志でローリングバレー、ボッチャ、陸上競技会等へ参加。 						
<家庭・地域との連携>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校公開を年3回実施。適宜、教育相談、体験学習実施。 ・ 市町教育委員会との連携による就学・転学に係る教育相談の実施。 ・ 近隣の小中高校との交流及び共同学習の実施。 ・ 小中学部では居住地校との支援籍学習（交流及び共同学習）を実施。 ・ 「市教委連携会議」を開催。就学転学相談に関することやセンター的機能の活用による地域支援等の連携。 ・ 「放課後等デイサービス連絡協議会」の実施。 						
<進路>						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒一人一人に合わせた進路指導の実践 小1から「進路・生活調査」の実施により、個別の移行支援計画を作成。 学区市町関係機関や事業所との連携 高等部における実習、進路を語る会、実力テスト、企業向け学校公開等 ・ 令和5年度高等部卒業生（8名）の進路先 就労継続支援B型（2名）就労移行支援（1名）生活介護（5名） 						



埼玉県内唯一の病弱・肢体不自由併置校
埼玉県立蓮田特別支援学校

校訓

明るく・心豊かに・夢の創造

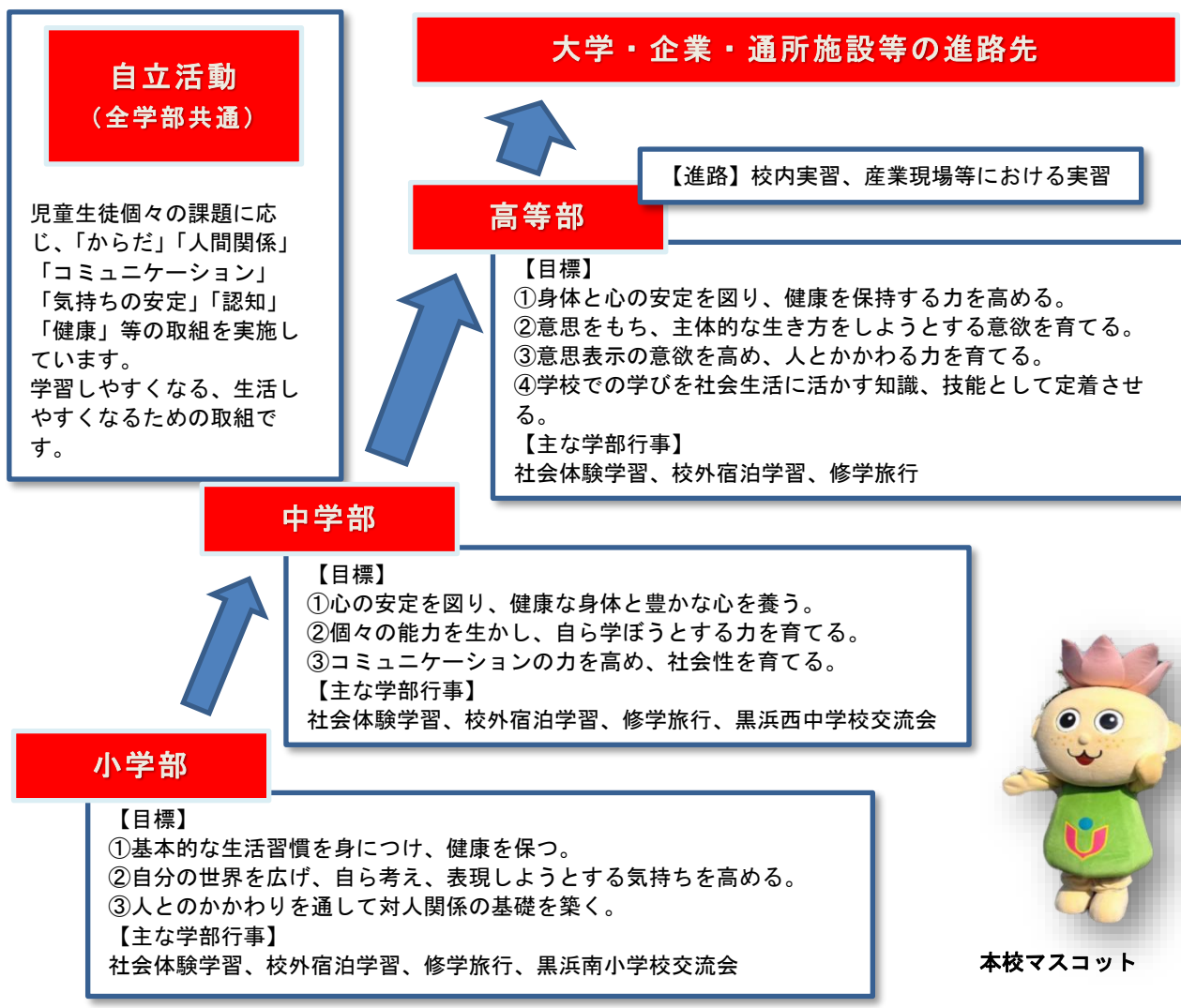
めざす学校像（学校教育目標）

自立や社会参加に向けた「生きる力」を育むとともに、児童生徒一人一人の可能性を伸ばす学校

個に応じた教育課程（類型別の教育課程）

類型Ⅰ	類型Ⅱ	類型Ⅲ	類型Ⅳ
当該学年の指導目標や内容に準じた教育課程	当該前学年の指導目標や内容を行う教育課程	知的特別支援学校の学習内容を参考にした教育課程	自立活動を主とした教育課程

児童生徒一人一人の学習の状況に応じて適宜変更見直しを行っています。



本校マスコット